

講演 3(要旨)

情報科教育近未来考

天良和男

東京学芸大学特任教授

国立教育政策研究所のプロジェクトが、世界的な教育課程改革の潮流を踏まえて、今後の教育課程編成で育成が求められる資質・能力として「21世紀型能力」を提唱した。

ここでは、問題を見つけて解決する力、新しい価値を創造する力、人間関係を形成する力、社会を形成する力、自己を理解したり自己を管理したりする力など、単なる知識や技能だけではなく、課題に対応することができる汎用的な能力（ジェネリック・スキル）の形成が求められている。もちろん、こうした汎用的能力だけを身に付けさせればいいわけではない。こうした特定の教科の知識や文脈に依存しない領域横断的な汎用的能力の育成とともに、従来の学校教育で行ってきた教科固有の概念・知識の理解および技能の育成も一層充実する必要がある。

そこで教育課程の次期編成をむかえるにあたって、共通教科「情報」における教科固有の概念・知識とは何か、この教科で育成する汎用的能力とは何か、ICT活用からプログラミングなどのコンピュータサイエンスへの世界的潮流にどのように対応するのか、情報の社会的側面をどのように扱うのか、これらに対応するにはどのような科目構成が適切か、等々、本フォーラムで議論を交わしたい。